

労働災害における ヒューマンエラー〇(ゼロ)対策

職場での事故は減少傾向にあるものの、依然として年間 10 万人を超える労働災害が発生しています。なかでも、ヒューマンエラーによるものは、時に大きな事故や不良を発生させます。

このヒューマンエラーは、人間の認知・判断・行動などの特性から生じるため、その特性を理解すれば、ミスのおこりにくい作業にする事が可能です。人間の行動特性から原理を学び、有効な防止策を学びます。

日時 平成29年11月10日(金)
11月29日(水)
の2回シリーズ
両日とも 13:30 ~ 16:30

場所 赤穂商工会館 3階 大研修室

対象 製造業の管理職・
現場リーダー及び候補社員

定員 30名(先着順)

参加料 無料

講師 照井清一氏



<講師プロフィール>

中小企業診断士、ISO品質・環境審査員補
(株)アイリンク 代表取締役

産業機械メーカーにて24年間、機械技術者として製品開発、品質保証、生産技術に従事し、その間多くの中小企業と共同開発や新規取引、品質指導を行う。2011年独立、(株)アイリンクを設立。中小製造業の技術PRや新規開拓、値決めと価格交渉などの支援を行っている。また支援機関のコーディネーターとして地域中小企業の技術・経営相談や産学連携にも従事している。

《お申込・お問い合わせ先》

赤穂商工会議所 赤穂市加里屋 68-9 TEL.43-2727 FAX.45-2101
主催：赤穂商工会議所 協賛：(公財)ひょうご科学技術協会

切りとらずにそのまま送信して下さい。

赤穂商工会議所 行 (FAX. 45-2101)

労働災害におけるヒューマンエラー〇(ゼロ)対策 申込書

事業所名		担当者名	
所在地		TEL	
参加者名	①	②	

※ご記入いただいた内容は、受講者の名簿作成、出欠確認、商工会議所からの各種連絡・情報提供のためにのみ利用させていただきます。

内容

11/10日(金) <座学が中心>

- ①労働災害の発生要因とヒューマンエラー
- ②人間の認知特性とヒューマンエラー
 - ・短期記憶と忘れ
 - ・気づかずに誤った行動をするスリップ
 - ・集中力の低下とヒューマンエラー
- ③ヒューマンエラーを起こす組織の問題
 - ・コミュニケーション
 - ・リスクシフトと集団浅慮

11/29日(水) <グループワークが中心>

- ①リスクマネジメントによるヒューマンエラー対策
 - ・各自の職場の潜在的な危険性や有害性の洗い出しを行い、1日目に学んだ方法で対応案を考案
 - ・グループディスカッションで、グループ別に発表を行い、改善策をよりレベルアップする
- ②今後のヒューマンエラーの取組みについて考える
 - ・要素作業、組織運営、人材教育、組織文化のそれぞれの切り口で、障害となっていることを抽出
 - ・グループディスカッションでグループ別に発表を行い、各職場での安全文化の確立を図る